



新年明けましておめでとうございます

今年は天気良く穏やかなお正月でしたね。みなさんいかがお過ごしでしたでしょうか？

個人的には毎年箱根駅伝が欠かせないのですが、今年は青山学院圧勝の中やはり6区の区間新に食い込んできた日体大が印象深かったです。昨年大記録と言われたものを大きく更新。記録はぬりかえられるものとは言いますが、1時間の壁を超える選手が他にも続出する様子に、昨年の記録無くしてこの記録は打ち出されていたのか、目標があるということは、こうも人にエネルギーを与えるものなのかと、人の持つ可能性に熱くなった正月でした。

今日はたいよう組が日枝神社に初詣に行くというので、請西保育園の代表でみんなの分もお参りよろしくねとお願いすると、「はい！」と頼もしい返事が返ってきました。さすが、もうすぐ1年生。どのクラスも子ども達は元気いっぱい、お休み中にご家族で過ごされた時間がしっかりとエネルギーにかえられていたように思います。

さて、今年は申年。軽快に動きまわるおサルさんのように足取り軽く、元気に過ごしていきましょう！

本年もどうぞよろしくお願いたします。

子育て四訓

- 一、乳児はしっかり肌を離すな。
- 一、幼児は肌を離せ手を離すな。
- 一、少年は手を離せ目を離すな。
- 一、青年は目を離せ心を離すな。

2月のお知らせ

5日(金)~6日(土) たいよう組第2回お泊まり保育

宿泊先：国立妙高青少年自然の家 新潟県妙高市大字関山 6323-2

たいようぐみの保護者の皆様、交通費の積立やスキーウェア等の準備をはじめ様々なご協力、本当にありがとうございます。

子どもの成長段階に比例して、少しずつ距離を離してゆく。「子育て四訓」は、山口県下に住むとある教育者の方(氏名不明)が、長年の教育経験を踏まえて「日本時事評論」にまとめたものです。

これを読んでいつも思うことは、距離の離し方になるほどと思うことはもちろんですが、今は肌を離さない、手を離さないでいられる距離にいる我が子もいつか自立し、少しずつ距離が離れていくのだろうと思うと、自立してもらわなくてはと思いつつ、戸惑ったりさみしくなったりするのは自分の方なのだろうなということ。でも、心はいつまでも寄り添ってられるし、そうあるべきだと、本当に離れていくわけではないと、逆に「離す勇氣」をもらいます。

今年も雪がたくさん降ったら…のお願い

昨年度は雪が積もることなく、そして今年の冬は比較的暖かく、雪の予報もないのでちょっと気が緩んで…いえいえ、初年度の大雪のトラウマはいまだ癒えず！（今年も子ども達には言えません）…昨年度の雪かき用のスコップやダンブを購入に加え、今年も更に雪対策を強化して冬を待ち構えている請西保育園です（園長です）。

とはいえ、人数が必要なことには変わりなく…今年も先にお願いをさせていただきます。駐車場と出入口の雪かきをぜひ助けに来て下さい。お家の周りが終わったらでかまいません。来れそうだったらでかまいません。少しの時間でもかまいません。どうぞよろしくお願いたします。

※初年度の大雪を知らない保護者の皆様へ解説：請西東は土地柄、雪がたくさん降り、そしてなかなか溶けません。坂の下のむつみと比べてもその差は歴然。市内の中でも雪の多い地域なのです。前の雪が解ける前に寒波襲来でワンシーズンに3回ほど大雪に見舞われました。そして八方が坂道なので、迎えに来る途中で車を坂の手前で乗り捨て歩いて来た、何とか迎えに来たけれどタクシーもバスもなく帰宅が困難になった等々、たくさんの逸話が残っております。